安管みやぎ

第９号

令和７年

(一社)宮城県安全運転管理者協会・宮城県安全運転管理者事業主会連合会

運転中に大地震に遭遇したら！

９月１日は、「防災の日」です。大正 12 年９月１日に発生した、関東大震災にちなみ、９月１日が「防災の日」とされました。宮城県でも、昭和 53 年の宮城県沖地震や平成 23 年の「東日本大震災」など過去に大きな地震がありました。自動車を運転中に大地震に遭遇した場合の対応について紹介します。

※　防災週間：毎年８月３０日～９月５日（内閣府）

大地震が発生した場合の対処方法！！

自動車を運転中の場合

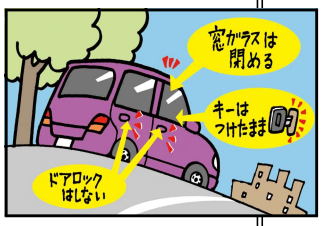
- ハザードランプ等で停止の意思表示をする
- 急ハンドル急ブレーキを避けて出来るだけ安全な方法で道路の左側に停止させて、エンジンを切る
- 避難する人や緊急車両が通行出来るように道路の中央部分を空ける
- 近くに駐車場や空き地がある場合はそこに移動する
- パーキングブレーキをかけて、余震に備える
- 停止後は、ラジオ等で地震の情報、交通情報を収集する
- 揺れがおさまってもしばらく様子を見る
- 現場に警察官がいる場合は警察官の指示に従う

車を置いて避難するときは

身の安全を確保するのが最優先です

- 避難する人の通行や緊急車両の妨げにならない場所に駐車する
- エンジンキーは、付けたまま、スマートキー見えるところに置いて、ドアロックはせず、車内に貴重品を残さない

　※　可能であれば「車検証」持ち出す



事前の備えも重要

○　車両に準備しておくと重宝するもの

・携帯電話のバッテリー　　・懐中電灯

・携帯ラジオ　　・緊急脱出用ハンマー

○　車中泊を想定した「防災セット」を準備することも重要

・食料、飲料、防寒衣、携帯トイレ、寝袋など